

コースや遊歩道の整備も含めた事業の展開は可能か。

答 既存の道路や自然を利用して、ノルディックウォーキングのコースができるか検討していきたい。

隠れ債務の実態について

問 今後の市職員の退職金の見込みは。

答 来年度以降の4年間は定年退職者数40人程度で10億円強で推移し、定年退職者のピークとなる27年度には50人超で13億円程度になり、28年度以降は20数人で5億円位まで減少すると見込んでいます。

問 退職手当金を発行する予定はあるのか。

答 借金である退職手当金を退職金に使うのは適当でないと考えています。

竹内政住(市政クラブ)

国道23号蒲郡バイパスについて

問 坂本トンネルの掘削工事が本格的に始まる。



騒音や振動対策、土砂運搬時等の交通安全対策は。

答 騒音対策としてトンネルの入口とその奥の2か所に扉をつけて、仮設ヤードに防音パネルを設置する。また、実際に作業が始まったら、振動測定等を行うようにする。交通安全対策として、さかもと橋等3か所にガードマンを追加する。

問 蒲郡バイパスの予算29億円の中に蒲郡インターから東三河インターまでの東部区間は含まれているのか。また、東部区間の今後の予定は。

答 東部区間も含めて計上されている。また、22年度は関係者に立ち会いを依頼して用地面積とともに

物件や建物の調査をし、価格算定作業を進めて、実際に買取作業に入るのは23年度以降になると思われる。

鎌田篤司(市政クラブ)

全国消防操法大会の概要と予算措置は

問 事実上初めて地方で開催される全国消防操法大会の概要と予算措置は。

答 11月12日に競艇場南駐車場一帯で開催され、消防団選手を含む関係者等約7千名が訪れる。当市が約7200万円の経費のうち250万円を負担する。



消防団による操法の様子

商店街の街路灯の維持と商店街振興策は

問 商店街による街路灯の維持管理が困難になってきている。この対応策は。

答 防犯灯として総代区に維持管理を依頼した商店街もあるが、極力商店街で維持管理をしてもらえるようお願いをしていく。

問 ごりやく市への県の補助金が22年度で終了する。その後の支援は。

答 国の補助金確保に努めるが、出ない場合でも市は支援をしていきたい。

伴 捷文(市政クラブ)

名鉄西尾・蒲郡線の支援について

問 3月開催の名鉄西尾・蒲郡線対策協議会で方針が固まってきたと聞いている。県の積極的な支援を期待しているが、どの程度の支援を考えているのか。

答 名鉄西尾・蒲郡線は道路と同様な社会基盤であるという認識のもと、県



名鉄電車

には支援対象経費の半分程度の負担を幹事会等で要望している。

国道247号に信号機の設置を

問 仮称蒲郡ショッピングモールのオープンまでに信号機の設置は可能か。

答 事業所の協力のもと現在乗り入れ用として利用している進入路の通り抜けの条件が整い、市道として認定されれば、公安委員との協議が必要だが、交差点として信号機の設置は可能であると考える。